

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

— 第25号・第26号合併号 —

＝ 目 次 ＝

- 平成26年度総会・講演会 2～4
日野川スマホ携帯写真コンテスト表彰式
- 河川功労者表彰受賞・日野川一斉清掃 5
- 日野川の自然環境と希少生物を守る体験学習 6
- 森と水に親しむ活動支援事業・日吉津海岸クリーン作戦 7
- 日野川源流探訪・地域の自然を守る活動 8
- 「大山古道を歩く」 9
- 講演会「日野川をめぐる地域の魅力再発見」 10～11
- 平成27年度総会・講演会 12～13
- 総会で日野高等学校が活動発表されました 14
- レポート「アユの調査についてまとめ」 15
- これからのイベント、会員募集 16

日野川の源流と流域を守る会

平成26年度 総会・講演会

■平成26年 2月24日(月)
米子市文化ホール
イベントホール

米子市文化ホールイベントホールにおいて平成26年度の日野川の源流と流域を守る会の総会・講演会を開催しました。

また、「日野川流域憲章記念事業日野川スマホ携帯写真コンテスト」のグランプリと入賞の方々の表彰を行いました。



平成25年度収支決算

1 収入の部

(単位：円)

区 分	決算額	備 考
繰越金	440,834	平成24年度より
会 費	830,500	
県補助金	290,987	とっとり県民参加の森づくり推進事業
その他	1,105	預金利息等
計	1,563,426	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	決算額	備 考
会議費	103,815	総 会
事業費	467,011	日野川源流探訪他4事業
助成金	117,375	8団体に助成
広報費	102,500	会報印刷配布
事務費	179,251	郵送料、封筒作成費ほか
計	962,048	

第2期 日野川スマホ携帯写真コンテスト表彰式


恵み豊かな日野川の景観を表現した写真を募集した「日野川スマホ携帯写真コンテスト」。第2期の表彰式を平成26年2月24日の総会で開催しました。

表彰式では、グランプリ作品1点と入賞作品6点を発表し、受賞者の方に賞状や日野川流域の特産品の副賞を授与しました。



応募期間 平成25年2月1日～平成25年12月31日

応募作品数 36点

 グランプリ 「夕日の向こうには明るい明日がある」 撮影 chhiro



【作品のコメント】

日吉津へ向かう途中に見た空があまりに眩しく、きらきらと光った川がとても美しく、夢中で写真に収めました。何枚も撮ったのですが、やはり秒刻みで変わる空。最初一枚目が一番、心に響いたのでこの写真を応募させて頂きました♪

入賞 「春の日野川」 野坂政昭



入賞 「日野川の」 穴



入賞 「水入らず」 大山散歩



入賞 「共存」 ようちん



入賞 「この水も日野川の源流」
ははまる



入賞 「川は流れる」
しげまん

講演会

「大山の地下水・湧水について」

総会のあとに鳥取県衛生環境研究所水環境対策チームの九鬼さんを講師に迎え、「大山の地下水・湧き水について」と題して、大山地域などの地下水や湧水の調査・研究結果等について講演いただきました。

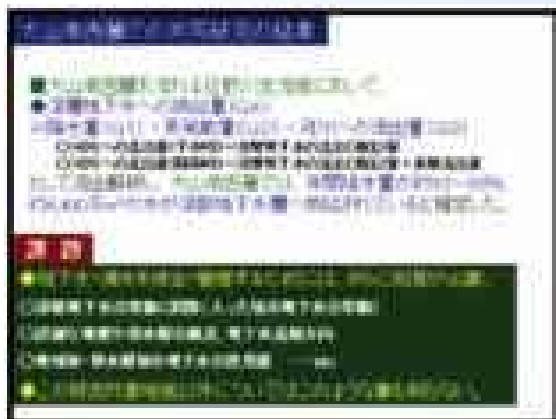
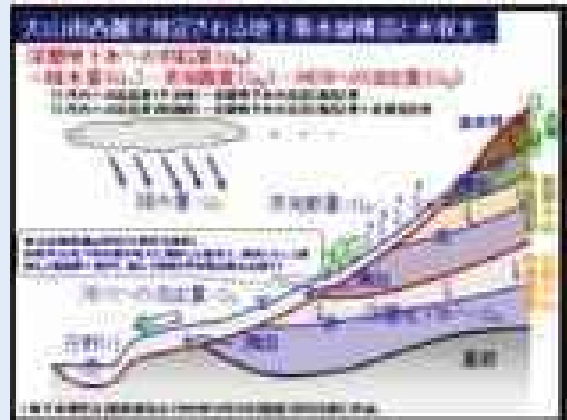
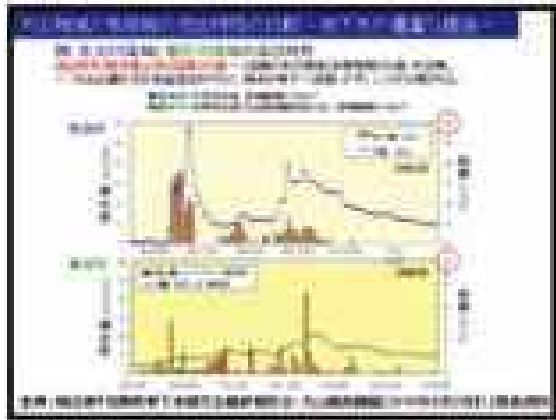


講師 九鬼 貴弘さん
(鳥取県衛生環境研究所水環境対策チーム チーム長)

……水質形成と地下水への依存度……



……地下水が豊富な理由……



まとめ

- 大山地域には豊富な地下水がある。
- 水収支の概算など最新の研究結果から、大山周辺においておいしい水の条件を満たす湧き水が集中している。
- その上でおいしい水を当たり前だと思わず、恵まれていると思ってほしい。

日野郡の2団体が河川功労者表彰受賞

「日野川の源流と流域を守る会」と「多里はんざけを守る会」(会長・面田洋一(おもだ よういち)氏) が河川の自然保護・環境学習・河川愛護の活動に功績があった団体として、平成26年5月26日に開催された公益社団法人日本河川協会の定時総会表彰式で河川功労者表彰を授賞されました。



日野川の源流と流域を守る会
【会長 豊島 良太 氏】



【会員による日野川河川清掃】

〈評価されたところ〉

■ 「日野川の源流と流域を守る会」

平成14年に設立以来、日野川における源流と流域の自然・森林・川と海を守る普及啓発活動や川に関する歴史や伝統文化などを次世代に引き継ぐため「日野川流域憲章」を制定するなどの河川環境保全活動。

■ 「多里はんざけを守る会」

平成13年からハンザケ(オオサンショウウオ)の生態についての講演、夜間観察会、人工巣穴の設置・維持管理、河川清掃、環境学習の実施等、河川の愛護・自然保護活動。



多里はんざけを守る会
【会長 面田 洋一 氏】



【生息地でもある源流の環境学習会】

活動
レポート

日野川一斉清掃

H26.7.6

場所：米子市古豊千

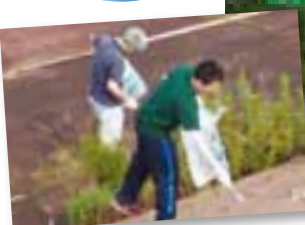


▲今年もみんなで綺麗に、エイエイ、オー！

いつまでも美しい日野川であるように！

河川愛護月間である7月の第1日曜日は「日野川一斉清掃の日」とされています。日野川を清掃する日野川一斉清掃(事務局：国土交通省日野川河川事務所)には、日野川の源流と流域を守る会は平成24年から参加し、3年目となりますが、初めての晴れとなり、豊島会長も参加しました。参加者は美しい河川景観や環境を守るため、ふるさとの日野川の恵みに大きな感謝を込めて、清掃ボランティア活動をしました。

全体では12団体から約2,000人が参加。河川敷や土手には吸い殻やプラスチックゴミ、ビン、ペットボトルなど全体では約4トンものゴミ。昨年は5トンでしたので、ゴミは減っていますが、美しい日野川を汚さないようにしましょう！



たくさんのゴミ。
日野川一斉清掃の活動は続く、、、

活動
レポート

日野川の自然環境と 希少生物を守る体験学習



オオサンショウウオ生態調査で日野高校生徒が活躍！

H26.7.16 場所：日野郡中菅・荒神原

日野川支流の河川生物調査学習としてオオサンショウウオの分布調査を実施しました。日野川の源流と流域を守る会で初めての試みです。鳥取大学大学院工学科 岡田純研究員の指導の下、日野高等学校の生徒が調査に参加しました。調査学習を通じて、美しい日野川を守り引き継いでいく自然環境への意識が高まりました。



▲オオサンショウウオ以外にも、川トンボ、沢ガニ等様々な生物を発見。最初はぎこちない生徒でしたが、午前の終わりにはタモの使い方も様になってきました。



▲調査の終了間際にオオサンショウウオを発見！小さいものですが、貴重な発見。小さなオオサンショウウオは大きな支流で生息するのは難しく、今回の調査で改めて支流の大切さを感じました。計測後、マイクロチップを取り付け元の場所に放流。

(注：オオサンショウウオは特別天然記念物ですので、許可がないと捕獲移動できません。)

オオサンショウウオの講義と小学生の自然観察！

H26.7.31 場所：日野郡黒坂・中菅

日野町の小学生を対象として日野川支流の河川自然観察学習とオオサンショウウオの講義を実施しました。こちらも日野川の源流と流域を守る会として初めての試みです。

この活動を通じて、生徒達は生物多様性に富んだ日野川流域の現状を学び、体験活動から地元の自然環境への関心が高まりました。7月16日の分布調査に参加した日野高等学校生徒も手伝ってくれました。



▲鳥取大学大学院工学科 岡田純研究員のクイズを交えた楽しい講義。小学生は興味津々！最後に紙粘土でオオサンショウウオ作成。



▲午後、日野川支流で河川生物の観察。99cmをはじめとするオオサンショウウオ7匹を発見。初めて見るオオサンショウウオに子供達は大喜び。

レポート

平成26年度 森と水に親しむ活動支援事業

(日南の水を守る会)

H26.8.24 場所：日南町生山



豊かな自然を次世代に伝えていく

日野川河川敷で開催された「日野川かっぱまつり」(主催：日南の水を守る会)に参加しました。まつりでは、日野川河川敷の草刈り作業、空き缶拾い、水路の清掃、特設池での魚のつかみ取り大会(ヤマメ、鮎等)、日南町に生息する魚、生育環境についての学習会、魚の放流と日野川での遊泳、川遊びが行われました。境港や米子からも参加し、初めて魚のつかみ取りに挑戦した子どもも多く、魚の動きの早さ、感触にびっくり。さらに体長1mのオオサンショウウオにもビックリ。

今回のイベントで、普段自然と接する機会の少ない子どもたちが日野川の大切さ、豊かな自然を次世代に伝えていくことの重要性を学ぶ機会となりました。

活動
レポート

日吉津海岸クリーン作戦

H26.8.31

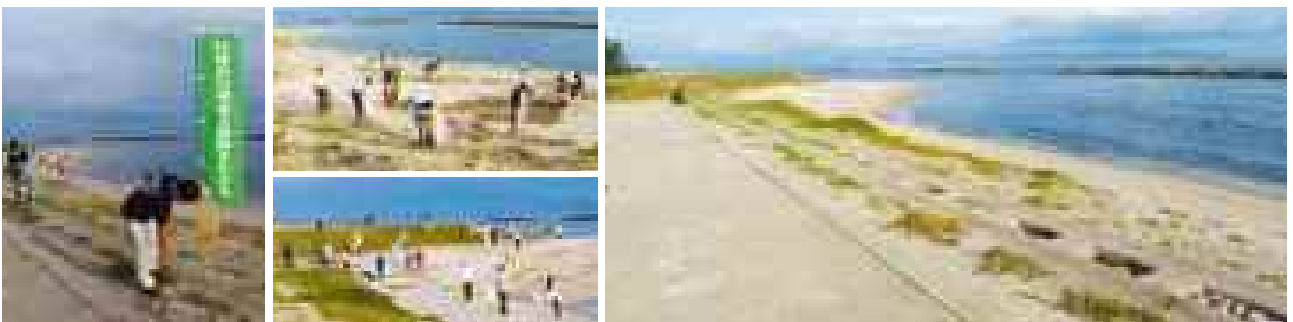
場所：日吉津村日吉津



▲ (日吉津村長) きれいな海岸を守りたい!

みんなで力をあわせて、日吉津海岸を清掃

日吉津海岸クリーン作戦実行委員会主催の日吉津海岸クリーン作戦が開催されました。日野川最下流の美しい日吉津海岸や日野川河口を清掃するボランティア活動に参加しました。天気にも恵まれ、早朝から約400名の参加者が3グループ分かれて清掃活動を実施。軽トラック約12台分(去年は8台)ものゴミを収集。ゴミは増加しており、今後も地道な清掃活動や啓発活動が必要です。



たくさんの方で海岸が人でいっぱい!

清掃後は、とてもきれい!いつもこうあってほしいものです!

活動
レポート

日野川源流探訪

H26.9.28

場所：日野郡日南町新屋

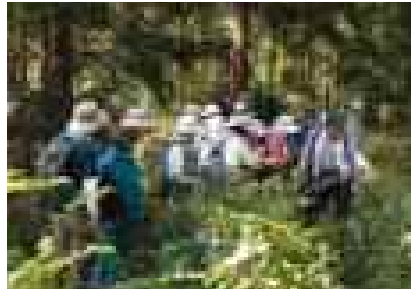


日野川や森林環境保存等の大切さを学びました。

日南町土屋から日野川源流の碑までの日野川源流域の自然や水辺(往復約8km)を2名のベテラン森林インストラクターのガイドで、ゆっくりと散策しました。

22名の参加者が環境保存の大切さを学びました。参加者は、ガイドの一挙手一投足に注目し、笑いあり感嘆の声ありの1日を過ごしました。

アンケート結果によると、このイベントは満足度が高く、参加希望者も多いので、毎年企画したいと思います。



活動
レポート

地域の自然を守る活動

H26.10.19 場所：日野郡江府町鏡ヶ成



▲今年もみんなで外来植物を抜くぞ～！

地域の自然を守る活動を江府町鏡ヶ成で実施。

鏡ヶ成は国立公園内にあり、希少な植物が多く残されています。その植生を脅かすブナ等の外来植物の駆除を24名の会員の皆さんと行いました。懸命な作業により軽トラ一杯分のブナを駆除することができました。

お昼には、休暇村奥大山特製の郷土料理「団子汁」が振る舞われ、参加者の身体を温めてくれました。

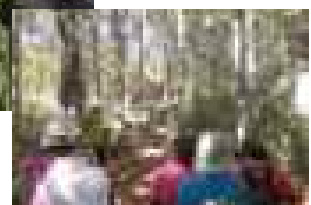
午後からは、環境省米子自然環境事務所、鳥取県、休暇村奥大山の共催で「わくわく自然体験塾」が行われ、県内でも希少な湿原やブナ林を、講師の解説を受けながら散策し、動植物について学びました。



▲自然の不思議に、皆さん興味津々でした。



▲鳥取県自然保護監視員が、外来生物について説明しました。



活動
レポート

大山古道を歩く

H26.11.9

場所：日野郡江府町御机・下蚊屋



奥大山古道保存協議会主催、奥大山古道ウォーク2014を共催で実施しました。

当日は冷たい雨の降る寒い1日となりましたが、約90名の参加。地元のガイドさんが語る奥大山古道の歴史や大山の自然について、皆さん熱心に耳を傾けていました。歴史あふれる大山古道を散策し、森林や水の大切さを改めて実感。



▲たとえ雨が冷たくても、ガイドさんのお話が始めれば、聞き入ってしまいます。



お昼は、江府町御机集落で後醍醐天皇伝説の団子汁と御机産のおにぎりやお漬け物でおもてなし。



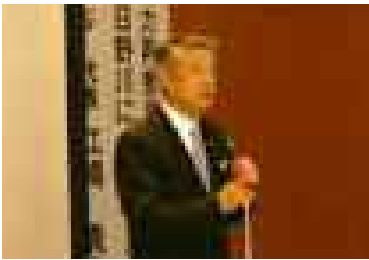
午後からは笠良原まで歩き、そこからバス移動して下蚊屋の荒神神楽を鑑賞。煙が出たり火を噴いたりする一大エンターテイメントは、一見の価値あり！歴史ある神楽に皆大満足。

講演会

「日野川をめぐる地域の魅力再発見」

日野川流域憲章記念事業として講演会を下記のとおり実施。（75名の参加）

- 期 日 平成26年11月16日(日)14:00～16:00
- 場 所 伯耆町農村改善センター2階 多目的ホール
- 演 題 「日野川の魅力が伝たえる大切なこと」
- 講 師 江崎 貴久 氏
(海島遊民くらぶ代表、NPO法人日本エコツーリズム協会理事)



源流の会会長あいさつ

私達は、大山・日野川水系は多大な恩恵を受けており、源流と流域の先は日本海、中海、美保湾へと続いている。

本日の講演会を契機に皆様にもう1回、今後どういふことをすべきかということ再検討していただきたい。

また、今後、永遠にきれいな日野川であるように願う。

講演概要

「観光」

観光は、平和で豊かなところでないと成立しない。人、食、自然が癒やしであり、豊かさである。この豊かさを皆に知ってほしいと思うことが観光の基本であり、豊かさを継続させることが地域貢献につながる。

「らしさ」と「ならでは」

「らしさ」とは何も手を加えなくても、そこにあるもの、「ならでは」とは「らしさ」が光る仕掛けのこと。光らせる方法は、自分なりの方法で良く、形式等にとらわれず、素直に自分たちがおもしろいと思うことが重要。



「思い」

「思い」があるから活動があり、人の「思い」を知ると「共有」ができる。

皆さんは日野川にどんな思いで活動しているのか。

源流の近くに住む人は、日野川をどんな思いで見ているのか。

流域に住む人の思いはどんなものか。

この地域ならでは思いを整理する必要がある。私は、下流は感謝、上流は思いやりだと思う。活動のすべては思いやりから始まり、思いを受け継ぐこと。

日野川の美しさだけでなく、「恵み」があるから受け継ごうと思う、守るだけではなく、その恵みを他の人へ伝え、さらに他の人へ伝える活動をしてほしい、ただし、一番身近だと思っている人に伝わっていないこともある。



「連携」と「循環」

思いを受け継いでいくためには、それぞれが全体の中での役割を知ることが重要。

集まるだけは集合、連携はお互いが必要としていること。

連携するためには、役割分担を明確にし、それを確認すること。

活動が続いているということは、連携され、循環があるということ。

続いていること自体がすごいこと、何が必要か、思いを整理すること。



「源流の会の活動」

源流と流域を守る、これはすごく大きな話、川の水の話ではない。

次の世代に受け継ぎながら進化していけば良い、素晴らしい活動であり、次の世代につなげてほしい、あせらず、自信を持ってやってほしい。

「今後の源流の会」

「おもてなし」とは「もってなす」ということ、つまり魅力を活かすということ、日野川という「宝物」をもって一体何をしたいのかを実現していくことが大切。

報告 日野川絵地図を改訂

日野川流域憲章事業として、日野川の良さを理解・PRするための「日野川絵地図」（流域全体の航空写真を使った地図）を改訂作成しました。

今後、会員の方に配布するとともに、一般の方、教育機関や関係団体等にも有効に配布し、川への関心を高めます。

「主な改訂箇所」

- ・ 新たな道路を追加
- ・ 境港市民の山、銀鮭養殖場の追加
- ・ 脱落河川名の追加
- ・ フォトコンテスト受賞写真の更新



※表紙は評判が良かったので、以前のもので変えていません。

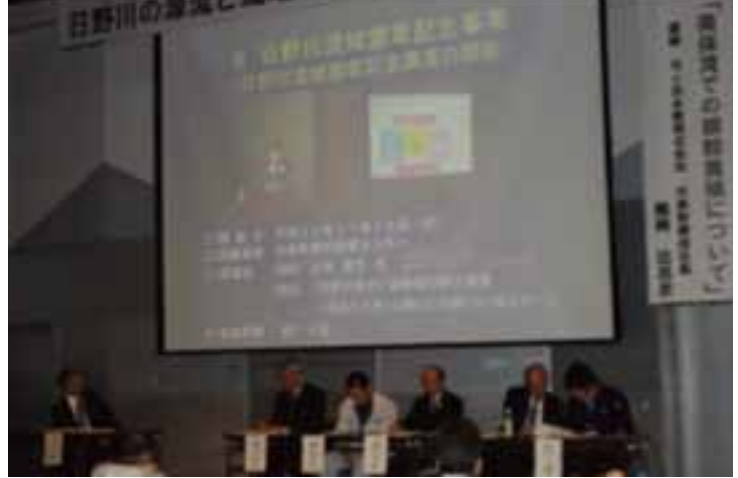
日野川の源流と流域を守る会

平成27年度 総会・講演会

■平成27年 2月23日(月)
米子市文化ホール
イベントホール

米子市文化ホールイベントホールにおいて平成27年度の日野川の源流と流域を守る会の総会・講演会を開催しました。

また、総会の中で「日野高等学校の日野川の生態調査」の活動発表をしていただきました。



平成27年度 活動の基本方針を決定

- 日野川の大切さを伝え、守り育てるという会の原点を大切にし、その理念の輪を広げる。
- 森林・河川保全等のボランティア活動に積極的に参加する。
- 上流域と下流域の幅広い交流を活発にする

平成26年度収支決算

1 収入の部

(単位：円)

区分	決算額	備考
繰越金	593,474	平成25年度より
会費	805,000	
県補助金	700,000	河川整備基金助成事業
その他	1,129	預金利息等
計	2,099,603	

2 支出の部

(単位：円)

区分	決算額	備考
会議費	58,787	総会
事業費	713,005	
助成金	70,000	1団体に助成
広報費	0	会報印刷配布
事務費	137,179	郵送料、封筒作成費ほか
予備費	128,604	日野川フォトコンテスト 賞品代など
計	1,107,575	

平成27年度収支予算

今年度も、総会・講演会や森や川・自然を守る活動、歴史や文化・自然を学ぶ活動、自然や森林の大切さを伝える活動、日野川流域憲章記念事業、上下流の積極的な交流推進などの活動をします。

1 収入の部

(単位：円)

区分	前年度予算額	本年度予算額	増(一)減	備考
繰越金	593,474	992,028	398,554	平成26年度より
会費	747,000	724,000	− 23,000	H26会費収入×90%
県補助金	2,250,000	2,392,374	142,374	河川整備基金助成事業、とっとり県民参加の森づくり推進事業、森と海の交流体験プロジェクト事業
その他	526	598	72	預金利息等
計	3,591,000	4,109,000	518,000	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	前年度予算額	本年度予算額	増(一)減	備 考
会 議 費	120,000	100,000	－ 20,000	総会(講演会を含む)
事 業 費	2,130,000	2,050,000	－ 80,000	
助 成 金	240,000	240,000	0	
広 報 費	100,000	200,000	100,000	会報ほか
事 務 費	210,000	210,000	0	郵券料、封筒作成、用紙代
予 備 費	719,000	1,309,000	518,000	
計	3,591,000	4,109,000	518,000	

川と水の講演会 「美保湾での銀鮭養殖について」

総会のあとに弓ヶ浜水産株式会社の鶴岡社長を講師に迎え、「美保湾での銀鮭養殖について」と題して、平成23年度からスタートした美保湾での銀鮭養殖について、美保湾が選ばれた理由や、今日に至るまでの苦労話を紹介していただきました。



講 師 鶴岡社長
(弓ヶ浜水産株式会社)

美保湾が選ばれた理由

○冬場の水温帯がサーモンに適していて高成長が見込める、集約的な養殖が可能、豊富な淡水資源（大山周辺）があること。

苦労話

○養殖を開始した頃は、日本海特有の高波でいけすから魚が逃げたり、アザラシの被害もあった。研究や工夫を続け、安定した操業が可能となり、今後2,000トンの生産を目指す。

美保湾で生産した銀鮭

○日本海の荒波育ちで豊富な運動量があるため、身が引き締まっておいしいと評判
○大山や日野川の豊富な栄養と海水が混じり合う美保湾の環境がおいしい銀鮭養殖に最適。

まとめ

- 東日本大震災で被災したため、2012年から美保湾で銀鮭養殖を開始。
- 美保湾で育った銀鮭は大山や日野川からの豊富な栄養と日本海の荒波育ちで身が引き締まり、おいしい。
- 弓ヶ浜水産株式会社は今後2,000トンの生産を目指す。今年3月末には新しい工場も完成する予定。



レポート

今までに実施されたアユの調査概要

アユの不漁の原因の特定は簡単ではないようです。

■ アユ資源生態調査

調査時期 H22 調査機関 県栽培漁業センター

調査内容

- 天然アユの遡上数 ■近年、5月～6月にコケが少なくなる現象が頻発しており、不漁原因の可能性の一つ。
- 流下仔魚数調査 ■カワウの食害、冷水病等の複数の原因もある。
- コケの残存量調査 ■今後、アユの不漁原因調査の継続実施を検討中。

■ 日野川アユ資源保全調査

調査時期 H19～H25 調査機関 日野川水系漁協

調査内容

- 漁場診断 ■産卵場造成の効果が現れ、天然アユの数はここ2～3年多い傾向。
- 天然アユを増やす検討 ■初期のアユの数が多くても、不漁であるのが現状。
- 天然アユを増やす検討 ■不漁の原因の特定はできていない。

(参考)日野川水系については、国土交通省が「公共用水域の水質測定結果」をH24に公表しており、特に水質の異常は認められていない。

トピックス

平成26年7月から鳥取大学で日南町との連携事業の一環として、日野川源流における水質・生態調査が開始されました。

この調査は、地元住民や関係機関の近年日野川水系の魚や生物が減少しているとの声に基づき、環境変化やそのメカニズムを明らかにすることにより、生態系の修復計画をつくることを目指すものです。

日野川の源流と流域を守る会事務局もこの調査に協力しています。



案内 平成27年度 これからのイベント・行事

時 期	イベント名	内 容	開催場所
6月上旬	水産体験学習交流	上流域の人達と下流域の人達が漁船での網揚見学や水産物の学習をし、絆を深める。	境港市他
7月上旬	日野川一斉清掃及び河川敷の植生調査	「日野川一斉清掃の日」に開催される日野川の清掃活動に参加し、清掃後、河川敷の外来種調査等を行います。	米子市他
7月中旬	日野川の自然環境と希少生物を守る体験活動	日野川支流の河川調査学習、学習会、河川清掃及び自然観察会をします。	日野町他
7月下旬	板井原川(日野川支流)河川清掃	日野川の支流である板井原川の河川清掃に参加します。	日野町
8月下旬	海岸クリーン作戦及び海や魚の学習体験	日吉津海岸で開催される「海岸クリーン作戦」に参加した後、海や魚について学習を行い交流します。	日吉津村
9月下旬	日野川源流探訪	日野川源流地域で自然解説を受けながら散策し、日野川の良さを体感します。また、地域とのふれあい活動を行います。	日南町他
10月中旬	水源涵養林での森林整備体験交流	上流域の人達と下流域の人達が森林の整備などを体験し、自然の大切さを学ぶ。	日南町他
10月下旬	地域の自然を守る活動	秋の大山山麓で地域の自然を阻害する外来植物の除去作業や自然観察会、地域とのふれあい活動を行います。	江府町他
11月上旬	大山古道を歩く	大山寺への多くの参拝者で賑わった大山古道を散策して日野川流域の自然や歴史の学習会、地域とのふれあい活動を行います。	江府町他

○イベント内容については、変更する場合があります。
○イベントの詳細や参加申し込み方法については、募集の際にご案内します。

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活を支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切に、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会

お詫び

★会の活動や日野川流域の保全等に係る情報提供のため、例年会報を9月と12月に発行してきましたが、事務局の事務処理の遅れにより、予定どおり発行できなかったこととお詫びいたします。
当初予定してありました会報第25号及び第26号の発行につきましては、本合併号として発行いたします。
今後は9月に27号、12月に28号を発行する予定です。